



### 理事長杯PG大会が開催

『感謝の集い桜まつり』を記念した第10回理事長杯パークゴルフ大会が3月23日に開催されました。

佐賀市内外から参加した22チーム88名の選手が、個人・団体とそれぞれのタイトルを目指して、晴天の中で元気にプレーをしました。

これまでの各種大会でも、地元産野菜にこだわり賞品提供をしていましたが、当日は兵庫町産の佐賀ほのかと、福井理事長の米が進呈されました。



【第10回大会の様子】



【さがほのかなどの賞品は大好評】

強豪が揃った今大会も、団体・個人戦ともに、接戦が繰り広げられ、団体は北川副PG愛好会が優勝、ゆめさが5A、兵庫老人じじばばチームと続きました。

個人では、ねむの木クラブの百崎匡克さんが優勝、北川副PG愛好会の永瀬健治さん、鹿島元気クラブBの前田清さんと続きました。



【10回大会優勝の北川副愛好会】

6月1日の第11回大会は風もあり涼しい中で開催され、16チーム63名がプレーしました。

団体戦は接戦で、優勝のゆめさが5Aと2位の鹿島元気クラブAとはわずか1点の差、3位は鹿

島元気クラブBでした。

個人戦も僅差で、優勝は鹿島元気クラブAの樋口重治さん、2位がゆめさが5Aの花島秋人さん、鹿島元気クラブAの山口貞行さんと続きました。



【11回大会優勝のゆめさが5A】

### 第1回まちづくり会議を開催

やっぱり課題は地域の安全安心

地区内自治会役員と夢の里兵庫が、より良い環境を作ろうと続けるまちづくり会議が7月2日に開催され18名が意見交換を行いました。

福井理事長が、折しも中九州南九州で大雨の被害が出ていることに触れ「これからも地域の安全安心のために、それぞれの地区から問題点を提示していただきたい」と挨拶。夢の里兵庫の令和元年度事業計画や調整池などの可動堰操作体制の報告後、活発な意見交換が行われました。



【まちづくり会議の様子】

地区からは交通事故多発の報告や、道路の混雑による交通安全対策の要望が上がり改めてこの地区の交通危険度の高さを認識することになりました。

福井理事長から、児童生徒の通学時における巻き込まれ事故対策は緊急性のもので至急検討していく旨が伝えられました。

### 防災協定関係者会議も開催

#### 災害時の対応を確認

兵庫北地区では、夢の里兵庫と地域の関係企業との間で『防災協定』が締結され、定期的に対応についての会議が行われています。

7月9日に開催された会議は、ゆめタウンをはじめとする10関係企業と地元4自治会の代表、夢の里兵庫地区役員のほか佐賀市河川砂防課や消防防災課も加わり、25名が出席して行われました。



【内容の濃い意見交換会でした】

消防防災課から災害時の対応について、河川砂防課からは大雨時の対応についての説明を受けた後、協定締結企業との意見交換が行われました。

それぞれの企業からは、「業種の持つ得意分野を活かした、速やかな対応を予定している・組織力を活かして対応したい」などの力強い決意表明も出され、協定の必要性を感じ関係者一同胸をなで下ろした会議になりました。

協定を締結している企業は以下の10社

- ・株式会社イズミ (ゆめタウン佐賀)
- ・医療法人春陽会 (うえむら病院)
- ・株式会社大和建设
- ・テクノホーム株式会社
- ・株式会社葉隠緑化建設
- ・株式会社江里口造園
- ・有限会社田中庭樹園
- ・株式会社佐賀クリーン環境
- ・佐賀県JA佐賀市ゆめさき支所

### 有明電設が地域の清掃

地区内ではそれぞれの企業が清掃活動を行ってられます。

株式会社有明電設では月に一度全社員が参加して、会社周辺にある通りの清掃活動を続けておられます。

「始業前の30分程度を目安に続けている」と応えてくれたのは課長の濱崎大輔さん。この日は江口社長以下全社員が参加しての清掃活動でした。



【4月17日の清掃活動の様子】

兵庫町の『まちを美しくする活動』の一環として各自治会で続けていただく花いっぱい運動と同様に貴重なありがたい活動です。

## お知らせ

### 夢フェスタひょうご 2019の案内

今年の開会式は12月22日(日)に行います。例年通り盛りだくさんの催しを予定しています。

12/22~翌年2/14までの55日間



- ・ウォーキング
- ・お楽しみイベント
- ・クリスマスパーティー
- ・クリスマスツリー
- ・ペットボトルランタン
- ・ナイアガラ花火など

# 夢の里兵庫 地域情報コーナー

兵庫北地区にあるいろいろな情報紹介を掲載いたします。  
希望者はお申し出ください。  
夢の里兵庫事務局 ☎37-8918

## この人に聞く

### 「夢インタビュー」



学校法人「佐賀清和学園」  
理事長 富吉 賢太郎

佐賀市のまちづくりの最先端に行く兵庫北。そのシンボルとも言える「ゆめタウン佐賀」。そのすぐそばに、創立109年の伝統を誇る「佐賀清和学園」が与賀町から移転して早6年になります。

明るい校舎、広大なグラウンド。誰もがうらやましがらうような「佐賀清和学園」。私が佐賀新聞社論説委員長を退任し、学園理事長に就任したのは今年4月1日です。本当に得がたいご縁だと思っております。

「清和」は佐賀を代表する私学だと自負していますが、ここで中高生合わせて約1300人が勉学、スポーツ、文化活動に励んでいます。少子・高齢化時代において「子どもは社会の宝物」と言われますが、ここで学んだ子どもたちは将来、必ずや佐賀を、日本を背負って立つ、かけがえのない人財だと信じています。

地域の人に愛される学び舎「清和」が、「ゆめタウン佐賀」と並ぶ兵庫北のランドマークになるよう、子どもたちと一緒に頑張りたいと思います。(佐賀市東与賀町在住)



佐賀清和中学校・高等学校 全景

## れいめい 兵庫地区の黎明 ~ 弥生時代から肥前国庁の時代展 ~

約15万㎡に上る兵庫北土地地区画整理事業の発掘調査では、まことに多くの発見がありました。その成果をパークゴルフ夢の里兵庫の展示ケースにおいて随時公開しております。今回は2年ぶりの展示替えを行ない、古墳時代から奈良時代の遺物を中心に公開しております。出土遺物は本邦初公開です。



展示ケースの前で説明をする三代さん

### 未知の官衙跡を大発見!!

昔の人は考えました。「この日本国をどのようにまとめようか」と。そこでお手本にしたのが中国「唐(とう)」の国の「律令制(りつりょうせい)」だったので。「律(りつ)」「令(りょう)」はともに法律のことです。この法律を基本にして国をまとめるには中央(朝廷)と地方に役所が必要でした。それを「官衙(かnerg)」と呼びました。今から1,300年も昔のことなので。この「律令制」はのちの日本の行政制度の原型となつたのであり、歴史上に大きな影響を残しました。そして、兵庫北地区において、まさにこの頃の今までまったく知られていなかった官衙の存在が確認されたのです。ちょうど肥前国庁と同じ頃のものです。官衙は当時の役所ですから、たくさんの公文書が作られました。墨で紙や木の板に文書を作成したのです。ですから硯や水差し・砥石などの文房具が使われたのであり、それらが出土しています。また、銜帶石(かたいせき=当時の役人が身に着けたベルトの飾り石)も出土しています。これらは当時官衙やその関連施設でしか使われなかった品物です。そして展示の見所は「墨書土器(ぼくしょどぎ)」でしょう。墨で漢字1文字か2文字を記した土器のことですが、これらによって当時の施設の性格や建物の内容・どのような人が関わったのかなど、歴史を解明する上で大変役立つ遺物なのです。

佐賀県内いや全国的に見てもこの頃の状況はそう多くはわかっていません。それゆえ貴重な資料といえます。兵庫北で新発見の官衙がどのような性格の施設であったのかは今後さらに議論を深めねばなりません。これから佐賀県史の中でも注目される遺跡といえます。兵庫北地区の歴史の奥深さを物語る遺跡なのです。

佐賀市教育委員会 文化振興課 三代 俊幸